

「学力向上セミナー」Report

発行：釧路市教育委員会 教育支援課

令和6年度「学力向上セミナーⅠ」

5月31日（金）釧路市生涯学習センター802・803号室にて開催（参加48名）

〈内 容〉

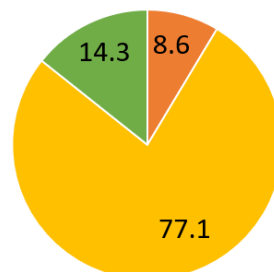
1. 「釧路市が目指す授業の姿」について

参加者の85.7%の先生方は、アンケートにおける回答結果（右図）から「釧路市が目指す授業」が浸透していると捉えていることがわかりました。

2. 「釧路市が目指す授業の姿」を踏まえた授業改善の方策について



勤務校での釧路市が目指す授業の浸透度合いはどのくらいですか。（単位：％）



■ 十分浸透している ■ まあまあ浸透している ■ あまり浸透していない

マイスターの先生方からの説明やグループ協議により、各学校において、授業づくりのプロセスを共有する仕組みづくりをすることの重要性が確認できました。具体的には、「釧路市が目指す授業」を日常化し、学校全体に広げるために、次のような方策を参加者全体で共有することができました。

- ・ 全教職員の学習指導における留意点を統一する（共栄小学校の「学習の手引き【QRコード】」による取組など）。



- ・ 全教職員の生活や学習指導に向けた子供との共有ツールを統一する（幣舞中学校の「ライフステージ ブルーマー（HOP STEP JUMP）【QRコード】」による取組など）。 ※ QRコードとiFutureのフォーラムで共有いたします。

https://drive.google.com/drive/folders/1D6Dyv2xyLlo1s8tsTYlOnCln9bwHc7-P?usp=drive_link

- ・ 授業板書をデータで蓄積し、全教職員で見合えるようにする。
- ・ 情報共有ツールとして「iFutureのフォーラム」「Googleチャット」「Googleクラスルーム」「ロイロノート・スクールの資料箱」などを使う。

3. ICT端末の活用について

端末の持ち帰りを日常の授業と連動させるために、「タブドリ」での課題配信の方法、オフライン使用の方法を動画で説明しました。



◆参加者の声

- 授業力向上を目指したいが、教材研究する時間がとれない実態があることなど、多くの先生が同じ悩みを抱えていることがわかりました。「学校全体に」「短時間で」「日常化」とキーワードが焦点化されていて、自分の学びにつながったと強く思いました。教材や板書を釧路市で共有できると、小規模校は大変うれしいなと思いました。
- 釧路市が目指す授業を日常化するために、冊子「釧路市の教育」の内容を広めていきたいと思いました。また、タブドリをオフラインでも使えるということを周知し、子供に積極的に取り組むよう促したいです。